

29日から冬季ユニバーシアード



小林市長（手前）に抱負を述べる古庄選手（右）と船場監督

「自分の滑りに集中」

古庄選手（八学大3年）が抱負

スピードスケート

八戸

ユニバーシアード冬季大会の女子スピードスケート競技に出場する八戸学院大3年の古庄亜衣選手（21）が23日、八戸市庁に小林眞市長を訪ね「自分の滑りに集中する」と抱負を語った。古庄選手は、駒大苫小牧高から同大に進学。昨年11月のジャパンカップスピー

ド第1戦で女子3千メートル、マススタート1位などの戦績を挙げ、ユニバーシアードの女子3千メートル代表とチームパシユートのサブメンバーに選出された。大会は29日から来月8日までカザフスタンのアルマティで開催、県内の大学からの代表入りは古庄選手1人。初の国際大会挑戦となる古庄選手は「今シーズンは

この大会を目標にしてきた。緊張することなく頑張りたい」と決意を披露。同行した船場亜希スピードスケート部監督は「八戸の子どもたちの夢にもつながらこの思いで代表入りを目指してきた。上を狙ってほしい」と思いを語った。

小林市長は「大会を足掛かりに、世界の舞台で活躍する日本の女子を代表する選手になってほしい」とエールを送った。

（岩村史生）